

2期目に向けて ～埼玉の未来に向けて責任を果たす～

2つの歴史的課題に立ち向かい 安心安全で持続的に発展する埼玉県へ

人口減少・超少子高齢社会の到来

- ◆ 国勢調査開始以降、全国で唯一人口が増加し続けた埼玉県が、人口減少へ
- ◆ 75歳以上の高齢者人口が、全国で最も速いスピードで増加

激甚化・頻発化する災害、パンデミックなど

- ◆ 大雨・降ひょう・竜巻などの激甚化・頻発化
- ◆ 今後30年以内に約70%の確率で発生する首都直下地震
- ◆ 新たなパンデミックの発生リスク

課題への対応

埼玉版スーパー・シティプロジェクト

DX・行政改革

埼玉版FEMA

ほか

【2期目に向けて】

1 少子高齢化／災害の頻発・激甚化に対応可能な未来を見据えたまちづくり

● 埼玉版スーパー・シティプロジェクトのさらなる拡大

(1期目)

29市町がプロジェクトに参加



(2期目)

令和8年度に**46市町村**
早期に全市町村の参加を目指す

■ 参加29市町



● 埼玉版FEMAの推進で、災害にさらに強靱な県に

(1期目)

風水害、地震災害、大雪災害の
シナリオを作成



(2期目)

・風水害等のシナリオのブラッシュアップ
・**火山噴火、国民保護**など新たなシナリオの作成



【2期目に向けて】

2 持続的な発展に向けた戦略的転換

● サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブの推進

(1期目)

サーキュラーエコノミー推進センター埼玉
を開設(R5.6)



(2期目)

持続可能な発展に向けた**サーキュラー
エコノミー、ネイチャーポジティブ**の推進に
よる**環境と経済の両立**

● スタートアップ企業と技術を支援し、ニーズと適切にマッチング

(1期目)

ベンチャー企業等への個別支援



(2期目)

起業家や異業種企業が交流し、
マッチングが生まれる場である
「(仮称)澁沢栄一起業家サロン」を開設

【2期目に向けて】

3 DXと行政改革を新たなフェーズへ

● DXを前提とした県庁を実現

(2期目)

(1期目)

ペーパーレス化やリモートワークが進み、
効率的で柔軟な働き方が可能に



DXの第2段階である「県民サービスの向上」
を実現するとともにDXを前提とし、北部拠点
の整備から**未来の県庁の絵を描く**

● 不断の行政改革を推進

(2期目)

(1期目)

部局横断のプロジェクトチームを試行的に
複数立ち上げ



時代の変革に対応する重点施策について
は、縦割りを超克し、**部局横断のプロジェクトチーム**で強力に推進

【2期目に向けて】

4 あらゆる人が生き生きと活躍できる居場所と社会を

● 少子化対策・子育て支援の充実

(1期目)

・ 子ども食堂など、子供の居場所の設置促進
520か所(令和3年度)



・ 「コバトンベビーギフト」を通じた孤立した子育て・ワンオペ育児の防止による子育て支援の充実



(2期目)

・ 子供の居場所**800か所以上**の設置
及び地域ネットワークの拡充

・ **子供への医療費助成を拡充**し、市町村
による子育て支援の充実を後押し

● 女性活躍と男女共同参画の推進

(1期目)

県庁の女性管理職の登用は
過去最高の13.8パーセントを達成



(2期目)

ジェンダー主流化による事業点検を
全庁展開し、ジェンダー平等を目指す